

かわさきの未来を考える市民フォーラムを開催しました。

平成26年11月8日（土）に、新たな総合計画づくりに向けた取組として『かわさきの未来を考える市民フォーラム』を高津市民館で開催しました。このフォーラムは、「かわさきの未来を考えるシンポジウム」と「展示コーナー」の2部構成で行われ、約800人の御参加をいただきました。

かわさきの未来を考えるシンポジウム

冒頭に福田市長から、少子高齢化や厳しい財政状況などの課題に触れたうえで、本市が持っている多くのポテンシャルや東京オリンピック・パラリンピックの開催など飛躍のチャンスをつえ、「最高のまち かわさき」の実現に向けた取組を進めるなど、新たな総合計画への基本的な考え方を説明しました。

また、地域包括ケアシステムの第一人者である田中滋慶應義塾大学名誉教授による「超高齢社会を見据えた地域づくり」をテーマとした基調講演、様々な分野の有識者によるパネルディスカッションを行い、活発な議論が交わされました。



かわさきの未来を考えるシンポジウムには、約300人の御参加をいただきました。



田中 滋 慶應義塾大学名誉教授



(左から) 園田 眞理子 明治大学教授
磯崎 初仁 中央大学教授
平尾 光司 昭和女子大学学事顧問

展示コーナー

川崎市制90年のあゆみを写真と映像で紹介したほか、殿町キングスカイフロントなどで取り組まれる最先端の研究など川崎の特色ある優れた取組や、市民が主体となって取り組む地域活動、更には、これまで市民の皆さんからいただいた総合計画に関する意見など紹介しました。



区民祭で御意見を伺いました。

新たな総合計画の策定に係る まちづくりカフェ



★「まちづくりカフェ」が終了しました。
・区民祭等に総合計画に関するブースを出展し、パネルに掲載した地域課題について、市民の皆さんが共感する項目にシールを貼っていただくシール投票を行いました。

- 【開催概要】
- 7/27(日)・高津区民祭
 - 10/12(日)・あさお区民まつり
 - 10/18(土)・幸区民祭
 - 10/18(土)・多摩区民祭
 - 10/19(日)・中原区民祭
 - 10/26(日)・宮前区民祭
 - 11/2(日)・市民祭り

・延べ、8289名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。(^^^*)

[発行]
川崎市 総合企画局 都市経営部 企画調整課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL 044-200-0372 FAX 044-200-3798
e-mail : 20kityo@city.kawasaki.jp
http://www.city.kawasaki.jp

皆様のご意見をお聴かせください。

市のホームページで市民の皆さんからのご意見をお聴かしています。
(<http://www.city.kawasaki.jp/200/page/0000059368.html>)



川崎市 総合計画ニュース

川崎市の新たな総合計画づくりの取り組みの状況について、定期的にお知らせします。

第2号
H26.11.26

有識者の方々による審議をはじめました。

★有識者会議

新たな総合計画を策定するにあたり、専門的な知識を持つ有識者の方々のご意見をお聴きすることを目的として、「川崎市総合計画有識者会議」が設置され、第1回会議が開催されました。

有識者会議第1回全体会
平成26年10月27日（月）16:00～18:00
川崎市役所 第4庁舎 第3会議室

座長の挨拶

「『課題解決先進都市川崎』という気持ちで、皆さんと一緒に議論をしながら1つのベクトルを示せればと思います。」



座長 涌井史郎 東京都市大学教授



市から新たな総合計画の策定方針の説明、市の現状、市民検討会議での意見などを紹介し、それに基づく議論を行いました。これからの人口減少・少子高齢社会の中で川崎市として何をすべきか、川崎の強みや地域貢献意識の強い高齢者の活用、「まち」の発展に果たす文化の重要性、各区の特徴を生かしたまちづくりなどについて議論されました。

有識者会議委員の紹介

| 氏名(敬称略) | 分野 | 役職等 |
|------------|-------------------|-----------------------|
| 涌井 史郎 (座長) | ランドスケープ・環境 | 東京都市大学 環境学部 教授 |
| 出石 稔 (副座長) | 地方自治・地方行財政・コミュニティ | 関東学院大学 副学長・法学部 教授 |
| 秋山 美紀 | 社会福祉・ソーシャルデザイン | 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 |
| 垣内 恵美子 | 文化・教育 | 政策研究大学院大学 政策研究科 教授 |
| 中井 検裕 | 都市計画・交通計画 | 東京工業大学大学院 社会理工学研究科 教授 |
| 平尾 光司 | 地域経済・産業振興・イノベーション | 昭和女子大学 学事顧問 |

★有識者会議ラウンドテーブル

有識者会議の委員に加えゲストアドバイザーや関係者をお招きし、より分野ごとの理解を深める「有識者会議ラウンドテーブル」が開催されました。

有識者会議第1回ラウンドテーブル
平成26年10月29日（水）18:00～20:00
川崎市役所 第4庁舎 第3会議室

第1回テーマ：2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築について
(田中滋慶應義塾大学名誉教授)

田中教授からは、要介護者・要支援者に配慮した生活拠点・地域づくり、ケア・ケアマネジメント、法人経営の重要性についてご説明いただき、委員や関係団体・事業者からは、ヘルスケア産業集積の強みを生かした地域包括ケアによるサポートや、超高齢化に向けた新しい住まい・生活拠点のあり方、互助の必要性などについて意見が出されました。



ゲストアドバイザー 田中滋慶應義塾大学名誉教授

ラウンドテーブルに参加いただいた関係者

| 氏名(敬称略) | 役職等 |
|---------|-----------------|
| 関口 博仁 | 川崎市医師会理事 |
| 中馬 三和子 | 川崎市介護支援専門員連絡会会長 |

【今後の予定】

- ・第2回有識者会議 2/1(日)
- ・第3回有識者会議 3/23(月)



市民の皆さんによる話し合いを進めています。

★市民検討会議

これからの川崎の目指すべき方向やそのための取組内容を明らかにする新たな総合計画を策定するにあたり、市民の皆さんのご意見をお聴きすることを目的として、「川崎市総合計画市民検討会議」が設置され、第1回全体会が開催されました。

委員の構成（全22名）

- コーディネーター 磯崎初仁教授（中央大学法学部）
- 市民委員（21名）

第1回市民検討会議の流れ

市からの説明

- ・ 新たな総合計画策定方針
- ・ 市民検討会における意見
- ・ 市の財政状況

グループディスカッション（3テーマ）

- ・ 将来を見据えて乗り越えなければならない課題
- ・ 積極的に活用すべき川崎のポテンシャル
- ・ 新たな飛躍に向けたチャンス

グループディスカッションでは、3つのグループに分かれて話し合い、「PRが不足している」「情報が届いていない」といった情報発信に関する意見や「高齢者が力を発揮し、安心して暮らしやすい社会を実現すべき」「多世代交流により地域のつながりをつくるのが重要」など元気な高齢者の地域活動や多世代交流に関する意見が出されました。

また、「先端産業の集積を活かして、企業と地域をつなぐことが重要」「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、観光等の取組ができないか」など川崎の飛躍に向けた意見も多く出されました。グループの成果発表を行った後、磯崎教授に次の3つのキーワードでまとめていただきました。

ディスカッションの共通のポイント

1. 交流・コミュニケーション

新旧住民の対話、南北地域交流、企業と地域の連携

2. 多世代交流

高齢者と若い世代との交流が大切

3. PR・イメージ

海外にも通用する川崎らしさの発信

第1回市民検討会議全体会
 日時：平成26年10月4日（土）9：30～12：15
 会場：川崎市役所 第4庁舎 第6・7会議室



コーディネーター
磯崎初仁中央大学教授



★市民検討会議部会

新たな総合計画を策定するにあたり、テーマ別に市民の皆さんのご意見をお聴きすることを目的として、「川崎市市民検討会議部会」が設置されました。3つの部会に分かれ、市民検討会議の委員が各2部会に参加します。今回は社会福祉をテーマとする第1部会を開催しました。

部会の編成

コーディネーター：磯崎教授（中央大学法学部）

| | | |
|------|--------|-------|
| 第1部会 | 社会福祉 | 委員13名 |
| 第2部会 | 子育て・教育 | 委員15名 |
| 第3部会 | 暮らし・交通 | 委員14名 |

市民検討会議第1部会【社会福祉】の流れ

市からの説明

- ・ 超高齢社会を迎える本市の状況
- ・ 各ディスカッションテーマに関する本市の状況

グループディスカッション・発表（3テーマ）

「超高齢社会においても生き生きと暮らし続けることができる地域の支え合い」

1. 誰もが安心して暮らせるしくみづくり
2. 高齢者が力を発揮し、元気で暮らしやすいまちづくり
3. 超高齢社会を迎えて、いきいきと暮らせるしくみづくり

グループディスカッションの視点

- ・ 家族や自分ができること
- ・ 地域が力を合わせて実現できること
- ・ 行政が担うべきこと

2つのグループに分かれて話し合い、「家族や自分ができること」では、「必要な情報を知る意識を持つ」「高齢者自身が地域に出てゆく！」など、「地域が力を合わせて実現できること」では、「介護が必要になる前からの人間関係づくり」「地域のコーディネート力の育成」「高齢者の出番をつくる」など、「行政が担うべきこと」では、「市民がやる気を起こすしかけ」「多世代交流の場づくり」「メリットづくり、見える化」などの意見が出されました。

それぞれのグループから成果発表を行った後、共感する意見にシール投票を行い、最後に、磯崎教授から、次のようなまとめがありました。

ディスカッションの成果：各テーマ共通のポイント

1. 情報と人間関係

情報と知る意識、日頃からの人間関係づくり

2. 出番づくり・場づくり

元気な高齢者の出番づくり、行政によるきっかけづくり

3. メリットづくり、見える化

健康維持のメリットづくり、健康度合いの見える化

市民検討会議第1部会【社会福祉】
 日時：平成26年11月1日（土）13:30～17:00
 会場：川崎市役所 第4庁舎 第6・7会議室



【今後の予定】

- ・ 市民検討会議第2部会(子育て・教育) 12/21 (日) ・ 市民検討会議第3部会(暮らし・交通) 2/8 (日)
- ・ 第2回市民検討会議全体会 1/25 (日) ・ 第3回市民検討会議全体会 3/1 (日)